

令和2年度第1回一関市水道事業経営審議会 会議録

- 1 会議名 令和2年度第1回一関市水道事業経営審議会
- 2 開催日時 令和2年10月9日（金）午後1時30分から午後3時50分まで
- 3 開催場所 一関市役所 議会棟全員協議会室
- 4 出席者
 - (1) 委員 二階堂満委員（会長）、石川聖浩委員（副会長）、菅野恵一委員、熊谷和子委員、小菅祐子委員、佐藤愛理委員、菅原英明委員、千田了委員、千葉美代子委員、千葉理恵委員、辻山慶治委員、永澤光宏委員、西村圭一委員、松岡千賀子委員
 - (2) 事務局 勝部修一関市長、鈴木伸一上下水道部長、那須野長己上下水道部次長兼水道課長、細川寿明上下水道部次長兼東部上下水道課長、畠山学総務管理課長、小野寺修水道課長補佐兼給水係長、佐藤耕一水道課長補佐兼水道工務係長、大山健治水道課長補佐兼水質管理係長、鈴木隆稔総務管理課総務係長、熊谷貴之総務管理課水道管理係長、小川聡子総務管理課主査、松岡敏徳総務管理課主任主事、鈴木文香総務管理課主任主事
- 5 議 題
 - (1) 一関市水道事業経営審議会の開催について
 - (2) 一関市水道事業の現状と課題
 - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 2人
- 8 市長挨拶

大変お忙しいところ、一関市水道事業経営審議会に御出席をいただきましてありがとうございます。

本審議会は、市の条例により、市長の諮問機関として設置するものであり、当市の水道事業経営全般に関する重要事項について審議をしていただくため、皆様方をお願いしました。

最近の水道事業は、人口減少などの影響により収入が減少してきています。また、水道関連の施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、更新の時期を迎えようとしており、今、水道事業は非常に苦境に立たされている状況です。

しかしながら、水道事業は、市民生活あるいは地域経済活動を支えるという面から見

て極めて重要なインフラです。

水道事業の健全化を目指し、知恵を出し合っていかなければならないと思います。

現在の水道料金は、平成29年度に17年の市町村合併以前の旧自治体ごとに異なっていた料金を統一したものです。最近のように思えるわけですが、水道事業の実態をしっかりと認識したうえで、どのような料金設定がよいか、皆様から忌憚のない意見をいただきたいと思います。

市民生活にも大きく関わるものですので、慎重に進めていく必要があります。

本審議会の所期の目標を達成できるように、皆様方の御理解と御協力をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

9 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に二階堂満委員が、副会長に石川聖浩委員がそれぞれ選出された。

10 諮問書手交

市長から二階堂満会長に諮問書を手交した。

11 審議内容

(1) 一関市水道事業経営審議会の開催について

事務局が、資料に基づき説明した。

併せて、今後のスケジュールとして、今後2か月に1回程度の頻度で本審議会を開催し、令和3年11月頃までに審議内容をまとめる日程を想定している旨を説明した。

以下、質疑応答。

委員 紹介された委員は15人だが、一関市水道事業経営審議会条例の規定では、委員数は16人以内ということである。16人に委嘱すればよかったのではないか。

事務局 委員の選考に当たっては、16人に委嘱する予定で準備を進めていたが、推薦を依頼した団体での調整がつかず、15人の委嘱となった。

委員 今回の審議内容に反対のため、推薦できないということではないのか。

事務局 他の用務などの事情で引き受けられないとの回答を受けている。

委員 料金回収率の説明に、給水原価と供給単価がある。用語の説明をお願いしたい。

事務局 給水原価は、水1トン当たりの製造費用である。供給単価は、年間の水道料金を、供給した水量で割った1トン当たりの平均価格である。

料金回収率は、供給単価を給水原価で割ったものになり、100%を超えていれば利益が出ているということになる。資料のとおり、当市の水道事業は約79%であり、現在の料金体系では、原価の8割弱しか回収できていないということ

になる。

(2) 一関市水道事業の現状と課題

事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 令和7年度には赤字になるとの説明だが、これが諮問の下地になっていると理解していいか。

人口が減る、経費がかかるという説明があり、最後に論点が示されているということは、次回以降、料金設定の具体的な内容が示されると考えてよいのか。

施設の更新などに24億円以上の経費がかかるとのことだが、企業債の借入額を企業債元金償還額の95%以内に抑える、財源繰越額を10億円確保するなど、このような厳しい状況で本当に実現できるのかと感ずる。

次回、令和7年度、8年度と多少改善するために、例えば水道料金を10%上げなければならないなど、具体的な話がないとわかりづらい。

厳しい状況にあるということは理解した。

事務局 令和7年度以降、収益的収支が純損失となる見通しであることを説明したが、財源繰越額が10億円を下回る見通しの令和5年度がターニングポイントと考えている。具体的には、次回以降に収支の改善のため水道料金を10%、15%など引上げ率の何段階かのシミュレーションをお示ししたい。

今回は、当市の水道事業がどのような状況であるかを委員に御理解いただきたいと考えていた。

資料説明の補足となるが、平成17年の市町村合併後、29年度に初めて水道料金を統一したと説明した。料金統一を数年前に行ったばかりでまた上げるのかと思う方もいると思うが、料金統一時は、これまでいただいていた水道料金総額と同等となるように改定したものであり、旧市町村で設定していた料金から、結果的に上がった地域もあるが下がった地域もあった。料金統一以外での料金改定については、旧一関市が平成10年度に平均改定率19.2%の増で、この時以降は改定してない。旧千厩町にあっては、7年度の改定以来初めてであるということをお示しさせていただく。

委員 会議の進め方について、このボリュームであれば、もう少し長く時間を設定した方が、委員も予定を立てやすい。

確認になるが、今回は下水道事業の説明は一切ないが、論点はあくまでも上水道事業に限ると考えていいか。

事務局 今回は、下水道料金の改定は考えていない。上水道事業の料金だけと理解していただきたい。また、会議の開催時間の設定について再考し、次回から注意

する。

(3) その他

特になし

13 担当課 上下水道部総務管理課